

地域包括ケアの深化・推進のための多職種連携研修会

日時：令和3年10月6日18時30分～20時15分

参加人数：88名

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年同様研修会場は設けず、全てZoom配信で研修会を実施しました。

○講演：多職種連携におけるケアマネジメント

講師：淑徳大学 社会福祉学科 教授 結城 康博 氏

〈概要〉

- ・介護の先に看取りがあるということを理解する。ケアプランをたてながら、その人の最期を考えることが必要。そのうえで多職種との連携を行う。
- ・在宅で介護をするためには、家族の協力が不可欠であるため、家族の支援が大切。
- ・デイサービス利用の目的の1つが入浴となっているが、自宅では入浴前後の掃除が大きなハードルとなっている。こういった、高齢者の実際の生活もしっかりイメージをし、ケアマネジメントを行うことが大切。
- ・高齢者の生活基盤を支えるために医療・介護の連携が必要。
- ・医療と介護の垣根を低くして、互いが話し合える環境、医療資源の整備、家族や本人の心境の変化を考えながら支援することを踏まえることで、在宅医療・介護連携が推進される。

○アンケート結果（アンケート回収74名）

①研修会に参加してどうでしたか？

良かった：71名 どちらともいえない：2名 良くなかった：1名

②Zoomでの開催はどうでしたか？

良かった：65名 どちらとも言えない：8名 良くなかった：1名

③ケアマネジャーに期待すること（抜粋）

ケアマネは医療と在宅介護をつなぐ、本当に大変な仕事だと思います。

大変な仕事ですが、やり甲斐のある素晴らしい仕事です。頑張って仲間を増やしましょう！

『医療』と『介護（生活）』のパイプ役に薬剤師を利用されたいと思います。

サービスありきではなく、限られた資源を自立支援に配分できるようお願いします。

医療への尊重と過剰な遠慮をしないで、一緒にやっていたら幸いです。

【参加者】

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、リハ職、ケアマネジャー、ヘルパー、管理栄養士、歯科衛生士、社会福祉協議会・地域包括支援センター・行政職員等

主催：木更津市在宅医療・介護連携推進協議会

共催：君津木更津医師会第一部会・君津木更津歯科医師会・君津木更津薬剤師薬業会